

## 「GPI政策羅針盤ワークショップメモ(鈴木)」

### 1. 3・11東日本大震災の「五重苦」:

- ①巨大地震 ②巨大津波 ③原発事故 ④風評被害、
- ⑤官邸のクライシス・マネージメントの失敗

9・11@2001 米未曾有の危機に「国家」が立ちあがる印象(ブッシュ大統領)

### 2. 大震災前からの「五重苦」

- ①政治システムの不全と時代不適合 ②行政機能の不全と時代不適合
- ③政権交代の失敗 ④財政危機→巨額の借金、財政破たん
- ⑤日本経済の低迷

### 3. 現状 でもおかしくないか？

#### (1)行政

- ①行政の力の復活 「復興院」、復興税、消費税、復興国債
- ②「行政」への期待の拡大 政治が機能不全→やはり行政しかない

#### (2)増税、財政負担傾向

- ①所得税、②消費税 ③復興税 ④(復興)国債

#### (3)経済

- ①自粛ムード 経済がさらに鈍化 ②観光、外国人が減少
- ③計画停電、電力量 ④企業等の移転(国内、海外)

### 4. すべきこと

- ①情報の収集、分析、調査・研究(リサーチ) 後藤新平  
→国内外における有用かつ膨大な情報とノウハウ  
時代を超えた「世界の資産」
- ②国内外との「政策コミュニケーション」の必要
- ③行政依存を増大するのではなく、多様なプレーヤー、多元的情報源(特に民の活用) →たとえば、「復興のタネ」
- ④税でなく、経済を刺激し、消費を促進する仕組みの構築  
巨額の財政支出や資金が必要。赤字増やさぬ復興。今の支出規模に単純に上乗せしたら日本衰退。→たとえば、「東日本に勇気と希望を」プロジェクト(プロジェクトCHE-Japan)
- ⑤専門性を活かせる仕組みづくり(人材育成と人材配置)

### 5. 最後に

- ・官民、公私 政府のすること、民間のすること 私有財産
- ・リスクヘッジ 分権 ・地域づくり、まちづくり
- ・日本という国、社会 ・ソーシャル・ガバナンス(遷都、「東北州」……)